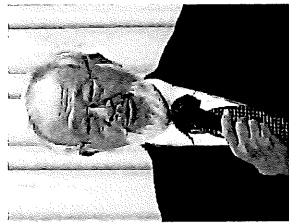


日本赤十字社厚生会 取材

# 一般社団法人全国公私病院連盟 創立60周年

2024年7月11日(木)、都市センターホテル・コスモスホール(東京都千代田区千代田)にて、創立60周年式典、記念講演会、記念祝賀会が開催されました。



## 開会の挨拶

(遠慮遠慮に寄せて)

全国公私病院連盟 会長 **邊見 公雄**

全国公私病院連盟に関わって約30年になります。「中央社会保険医療協議会に病院代表を」という、当時の竹内正也会長の下、11病院団体が審議を重ね、2005年に日本病院団体協議会を設立しました。日本病院会から石井肇慶先生、全国公私病院連盟から私が中医協委員として任命され、チーム医療や医療安全、麻酔病など、今まで評価の低かった分野の見直しに結びつきました。臨床工学士やソーシャルワーカーなどは、半年余りの議事録に記載がなく、私は次のように自己紹介しました。「私は医師であり、医師の代表ではなく、30以上の職種が働く病院の代表として参りました。今まで陽の当たらなかった所くもよろしくお願い申し上げます」。

NST(Nutrition Support Team)や標準防止なども、この時の改定で評価されたものですし、初・再診料の病院・診療所間の格差も是正されました。

人生の最大の目的は財産や名誉を作ることではなく、よい仲間、よい思い出を作ることです。この機会を利用して、よい思い出を作りたいと思います。

## 来賓祝辞

一般社団法人日本病院会

会長 **相澤 孝夫**

創立60周年の記念式典、小よりお祝い

申し上げます。全国公私病院連盟が我が国の病院の発展に多大な貢献をされたことに敬意を表します。「日本病院会70年史」を紐解いてみますと、全国公私病院連盟に関する記載がかなりあります。例えば、日本病院会の前身は日本病院協会ですが「日本病院協会は病院が良き組織医療を成すために、病院の職員、病院人の集合体として機能させていくことである。病院が機能するためには経済的に病院が安定していないと機能することができない。その解決は全国公私病院連盟によつて行われる。」「全国公私病院連盟は政治的な活動を行う」等々。この2つの団体は兄弟の関係であつたと思います。紆余曲折の結果、1972年に今のようにな各々の会長がお互いの顧問を務める形になりました。今もお互いに仲良くしております。

これからの課題は医療と介護の連携です。加えて医師の働き方改革や医療従事者の人材不足、さらに病院の経営状況は年々悪化、病院という組織であるから解決しなくてはならない問題が山積です。病院団体は垣根を超えて協力し合い、日本の病院の未来を築いていかなくてはなりません。果たす役割は今まで以上に大きくなると思っています。

## 式典挨拶

社会福祉法人

医療財団済生会理事長

**炭谷 茂**

衆議院議員

**森 英介**

## 記念講演

(日本医師会の医療政策)

日本医師会会長 **松本 吉郎**

- ・令和6年度診療報酬改定について
- ・地域医療構想：在宅医療の議論
- ・医師偏在対策：若手医師対策、医師の働き方改革との齟齬が起らないような施策を。

医師会としては、地域に根差した医師の活動が重要。学校保健、企業での健診、予防接種などに積極的に携わって欲しい。

## 一般社団法人全国公私病院連盟

一般社団法人全国公私病院連盟は、全国の公的・私的病院が団結して、組織医療の向上と病院の経済的・社会的地位の維持発展を図ることを目的として、昭和39年7月に任意団体として設立。平成23年8月22日に一般社団法人へと移行いたしました。今日に至るまで活動を続けております。

会員病院数(2024年7月1日現在)：8団体 1,583病院



(公社)全国自治体病院協議会	850病院
全国厚生農業協同組合連合会	100病院
全国済生会病院長会	82病院
日本私立病院協会	66病院
全国公立病院連盟	100病院
日本赤十字社病院長連盟	92病院
(一社)岡山県病院協会	158病院
(一社)日本公的病院精神科協会	135病院